

第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会（令和6年1月6日～7日@大宮ソニック）

指定演題

日程	開始時刻	終了時刻	時間	セッション	講演テーマ	演者	所属
1月6日	12:40	13:40	60分	ランチョンセミナー1	国際総合競技大会における理学療法士の活動	鈴川 仁人	横浜市スポーツ医科学センター
	15:00	16:30	90分	シンポジウム1 「多彩な理学療法士の活動と広がり」	スポーツのグローバル化と理学療法	片寄 正樹	札幌医科大学
					リコンディショニング施設における活動	岡戸 敦男	トヨタ自動車(株) リコンディショニングセンター
					国際競技力向上に関する理学療法士の役割と活動	鈴木 章	日本スポーツ振興センター
	15:00	16:30	90分	シンポジウム2 「大学スポーツにおける理学療法」	大学におけるスポーツ理学療法士の役割～教育と研究の実践	寒川 美奈	北海道大学
野球による大学選手の育成のために理学療法士が担う役割					宮下 浩二	中部大学	
1月7日	9:00	10:00	60分	モーニングセミナー1 「チームサポーターとしての理学療法士」	アスリートサポーターとしての役割ー教育現場の視点からー	前田 慶明	広島大学
					プロバスケットボールチームでのスポーツ理学療法士の役割と課題	瀧口 耕平	京都ハンナリーズ
	9:00	10:00	60分	モーニングセミナー2 「スポーツ理学療法における世界の動向」	前十字靭帯損傷・再建術後患者のスポーツ理学療法研究 ースポーツ復帰に向けた身体機能および心理要素へのアプローチー	相澤 純也	順天堂大学
					スポーツ外傷・障害サーバランスの日米間の違い ー野球における上肢障害に着目してー	渡邊 裕之	北里大学
	12:30	13:30	60分	ランチョンセミナー4	スポーツにおける慢性膝関節障害の評価と理学療法	佐藤 正裕	八王子スポーツ整形外科
	13:40	14:40	60分	教育講演	パラスポーツの広がり可能性	緒方 徹	東京大学
	14:50	16:20	90分	シンポジウム3 「地域におけるスポーツ理学療法」	スポーツ理学療法をどう伝えるかー私なりの工夫ー	千葉 慎一	ウェルケアわきた整形外科
					幼稚園のスポーツテストからプロアスリートのフィジカルチェックまでを経験して見えてきたもの	福本 貴彦	畿央大学
地域におけるスポーツ理学療法の提供 ー医院併設スポーツ施設の役割ー					田村 耕一郎	広瀬医院	